

平成29年度 第1回高梁市医療計画検討委員会議事概要

日 時：平成29年8月22日（火）

19:00～20:00

場 所：高梁市役所3階大会議室1

出席者：委員13名、アドバイザー1名、事務局5名

1 開 会

2 委嘱状交付式

3 市長あいさつ

少子高齢化の中で、住民基本台帳上は、人口32,000人を切っている。35歳以上64歳以下の人口は若干プラスになり、20代人口のマイナス幅も小さくなっている。平成28年に生まれた子どもの数は192名といったんはプラスに転じている。

総合戦略においても、2060年で人口21,000人に留めたいという計画にしている。その中で、医療は大事な分野と認識している。

岡山県保健医療計画では、高梁・新見医療圏域で医療需要等の数字が出ているが、高梁市の医療・介護のあるべき姿をこの計画で盛り込みたい。また、公立の診療所は13あるが、今後どう考えていく必要があるのか。そして、地域交通の問題も合わせて検討していきたい。

この検討委員会では皆様の経験を活かしていただき、より良い高梁市医療計画策定のためのご協力をよろしく頼む。

4 役員選出

会 長 吉備国際大学保健医療福祉学部 学部長 中角 祐治氏

副会長 一般社団法人高梁医師会 会 長 仲田 永造氏

5 高梁市医療計画検討委員会について

資料1により事務局から説明

6 協 議

(1) 高梁市医療計画（案）の策定について

資料2により事務局から説明

—質疑なし—

(2) アンケート調査について

資料3、4により事務局から説明

委 員：アンケートの配布・回収は郵送にするのか、それとも人を介しての配布・回収にするのか。
人を介すことによって回収率のアップも見込めると思うがどうか。

事務局：今回のアンケートの配布・回収は郵送で行いたい。なお、回収率は50%を見込んでいる。

委員：潜在看護師（看護師・准看護師）の把握はどのような形で調査を行うのか。

事務局：市民アンケートと一緒に送付し、該当の方がおられたら市民アンケートと一緒に回答いただく形になる。回答いただく内容は、氏名、住所、連絡先等で具体的な内容は個別にヒアリングさせていただく。

委員：医療機関の調査は付属の診療所もまとめて回答するとの事だが、備中診療所は、専任の医師を配置している状況であり、まとめて回答するより、直接調査を行った方が、より実態に合った回答が得られると考える。

事務局：検討させていただきたい。

7 その他

アドバイザー：アンケートはないものねだりの回答が予想される。今の市内の社会資源がどう活かされるかが重要である。そのためには、ある程度、市の方向性を考えておかないといけない。県保健医療計画、市介護保険事業計画との整合を図りながら市医療計画の策定を進めてほしい。

事務局：10月末にはアンケートの分析を終わらせたい。次回の検討委員会はアンケートの報告書完成後の11月下旬を予定しているので、出席をよろしく頼む。

8 閉会（仲田副会長）

アンケートの結果をどう計画に活かしていくか今後、皆さんで検討していきたい。